

**事業名 生涯学習職員研修「基礎研修会」**

**目的** 生涯学習・社会教育関係職員等の資質向上を図るために必要な基礎的・基本的事項について研修し、生涯学習の推進を図る。

**実施主体** 新潟県立生涯学習推進センター

**参加対象** 市町村生涯学習・社会教育関係職員等

**参加者数** 延べ 100名

**回数** 2回

**日数** 3日

**時間** 14時間半

**場所** 新潟県立生涯学習推進センター大研修室

**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師・発表者等
1	5月29日(木)～ 30日(金) 10:30～16:00	生涯学習・社会教育事業への挑戦 ～はじめの一步から～	講師 新潟市立万代長嶺小学校長 真柄正幸 発表者 三条市市民部生涯学習課主事 武藤弓子
	内容・ 方法	○発表者として昨年度この研修会に参加され今年度2年目の方から、初めて担当する事業の取組の様子を、工夫した点、苦労や失敗談も交えながら発表してもらった。その後、質疑応答を行った。 ○講師の「事業の企画及びプログラム作成」の考え方の講義後、グループに分かれ、グループで事業計画づくりを行った。	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	11月20日(木) 10:30～16:00	実践につなげよう	講師 新潟市立万代長嶺小学校長 真柄正幸
	内容・ 方法	○課題「受講者各自が今年度取り組んできた事業を、第1回研修会で使用した事業計画様式にて作成してくる。」として、事前提出を行った。 ○その課題を講師の指導のもと、グループ内(領域別グループ)にて、プログラムチェックを行った。 ○それをもとに、各自がリデザインを行った。	

- 成果**
- ・ 学習プログラム立案についての内容を一人の講師によりシリーズ(2回3日間とも参加)で実施したが、生涯学習・社会教育推進業務への意欲化・実践化に繋げるためには、有効であった。(受講者満足度平均89%以上 講師から「新人が作成したプログラムとしては、かなりレベルが高い。」との評価を貰う。)
  - ・ 講師の受講者(研修会当日欠席で、課題提出のみされた方も3名いた。)一人一人への指導助言は、とても有効(受講者高満足度を得た)であった。講師の人選も良かった。
  - ・ 第2回研修会での課題提出は、受講者にとっては、かなりの負担であったと思うが、確かな力量アップ(満足度アップ)につながった。
  - ・ 第2回研修会午後の受講者数が15名であった。コンピューター室(コンピューター)を使用しての研修には、とても適切な人数であった。

- 課題**
- ・ 研修会実施の有効性をアンケートの集計結果からだけでなく、受講者の受講後の活動の様子から捉える必要があると考えられる。 → 今後、受講者との情報のやりとりを実施していく。
  - ・ 参加人数増を考えるとパソコンを使用する研修会は、当センターの台数が少ないこと・参加者が持ち込むパソコンやソフトのウイルスチェックの問題、対応職員の問題等から限界があると考えられる。 → 今回の内容の研修(学習プログラム立案、プログラムチェックとリデザイン)を大勢で実施する場合は、パソコンを使用せず、手書きによる研修として実施していく方法も考えていく必要がある。

**問合せ先** 新潟県立生涯学習推進センター学習振興課(担当:若月信久) TEL:025-284-6110